

第2回高松市中心市街地活性化協議会 開催結果

○日 時 平成18年12月25日(月) 13時30分から15時45分まで

○場 所 当所会館 4階 401会議室

○出席者 委員 23名 ・ オブザーバー 10名 ・ 傍聴者 6名

○開催結果

植木英治会長が開会挨拶を行った後、議長となり会議を開催した。



まず、議題(1)「高松市中心市街地活性化に関するヒアリング結果について」を上程し、池尻育民高松市産業部次長より資料に基づき、説明を受けた。

次に、事務局より参考資料として事前に配布していた「高松まちなかビジョン」について、当ビジョン策定の中心的役割をはたした林委員に概要説明を求め、同委員より資料に基づき、説明を受けた。

次に、議題(2)「新高松市中心市街地活性化基本計画の進捗状況について」を上程し、池尻育民高松市産業部次長より資料に基づき、説明を受けた。

この後、意見交換に移り、委員からは「協議会は、基本計画を今後の発展性や進化等の方向性を内包したような形で議論すべきである。」、「南部の商業地区についての視点が欠けているのではないか。」、「コンパクトシティに向けたまちづくりとして、集積は重要なポイントである。都市圏人口が減少していく中で、商店街としての形成を維持していくためのバックグラウンドの形成がいつまであるのか等、今後の課題として検討していくべきではないか。」、「地元の人々の意向をくみ上げるべき、地元の人々が参加しないとまちづくりにはならない。」、「海辺の開発の仕方によっては、新たな交流人口を増やせる事業が行われる可能性があるのではないか。」等の建設的な意見が多数出された。

